プリンセス
小公女セーラ

第42話

『雪の日の追放』

AR台本

企画
制作
日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第四十二話『雪の日の追放』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン……………中西妙子
アメリア……………梨羽由記子
ベッキー……………鈴木みえ
ロッテティ……………渡辺菜生子
アーメンガード……………八百板万紀
ラビニア……………山田栄子
ガートルード……………佐々木るん
ジェシー……………飯塚はるみ

モーリー……………向殿あさみ
ジェームス……………郷里大輔
ピーター……………坂本千夏
ピーターの父……………
ピーターの母……………
マギー……………
メアリー……………
男……………
少年①〜③……………
男の子Ⓐ〜Ⓑ……………
女の子……………
紳士……………

	カメラ
	画面
	音声

16	窓外キリが流れる くすぶる焼跡、焼け残り窓がゆれている、黒くこげたハリからしたたり落ちる水滴 炎の痕が黒ずんでるレンガの壁		
17	抜けた屋根から見える火事の跡 学院のカベも黒い痕が見える		ミンチン(off)「お黙り！　セーラー!!」
18	ころがる石炭馬穴、庭の水たまりに映るやけ跡、燃え残った扉 薄く霧が流れている		
19	ダンロに手をかけ激怒したミンチン、ゆがむ口許		
20	強く握られるスカート、悲しげな表情でミンチンを見つめるセーラとミンチンからセーラに目線を下ろすアメリアの心配げな顔		
21	柳眉を逆立て見据えるミンチン		

	震える口唇、ダンロにかけた手を握りしめる、これをきっかにセーラ方向き直りキっとにらみつけ、ストローを握る手震える！		ミンチン「この学院に火をつけようだなんて…！お前と云ふ子はなんて怖しい事を…‼」
22	悲痛な顔のセーラ、ミンチンをじっと見つめている		
23	キっとなり見下ろしにらみつけるミンチン		ミンチン「……さ……！　正直に白状するんです！」
24	悲しげに顔を上げ必死な表情で口唇をかみ泪を流さんばかりの表情のセーラ		セーラ「ち…違うんです、院長先生…！　私が駈けつけたときは、馬小屋は一面火の海で、なぜ火事になったのか、私にも……」
25	覆いかぶさるようにセーラに怒鳴るミンチン、前に出てセーラの襟首をつかむミンチン		ミンチン「まだそんな云い訳を……！お前、屋根裏から……〜あそこへ移された腹いせに、火をつけたに決っています‼」
26	襟首つかみゆすられるセーラ 苦しそうなセーラ		セーラ「そ、そんな！」

27	顔を上げてオズオズと		アメリア「……。お…姉様…まだセーラさんがやった訳では…」
28	アメリアの方をにらんでいるミンチン、引きつけるように襟首を一層つよく振るミンチン グッともち上げてにらみつけるミンチン、苦しそうに顔をそむけ歯をくいしばりたえるセーラ		ミンチン「いいえ！ この子です……！ この子は前々から私を憎んでいました。他に犯人がいる筈はないんです！」
29	つま先き立ちになっているセーラの足、グッともち上げられつま先が浮かんばかりになる		
30	歯を喰いしばり顔をそらし、じっと見つめるセーラ		
31	ピリピリと逆立つ眉毛		ミンチン「な……！ なんです！ その眼は…!!」
32	じっと見つめるセーラ		
33	グッと引きつけてー！ セーラ勢よく押し放つミンチン		ミンチン「こ……この傲慢な……！ 嘘つき娘が……！」

34	スタンドのフードにセーラが倒れいくのが映る		S・E　（ドスン、ガタン）
35	階段の途中できき耳をたてている生徒たちぎくりとする アメンガードにしがみつくロッティ、顔を見合せるジェシーとガートルード		アメリア(off)「お姉様!!」←〜〜
36	しがみつきアメンガードを見上げるロッティ、ぽろりと泪をこぼしてしがみつくロッティ、アメンガードの目にも一杯の泪		ロッティ「……セーラママ……可哀想……」
37	ラビニア振り返りロッティの方を見てニヤリとして		ラビニア「フン……当然よ…」
38	泪をためた目でラビニアを見るアメンガード、ラビニア、ジェシー、ガートルード、顔をそらす、ラビニア、フンとジェシーとガートルード見合せてクスンと笑う		ジェシー、ガートルード「クス!」

39	床にひざをつきうなだれているセーラ、手を握りじっと見下ろしているミンチン、握った手は力で震えている		
40	倒れた椅子に手をかけうなだれているセーラ		
41	セーラの方からミンチンを見るアメリア、心配げな面持である		
42	キリキリとにらんでいるミンチン		ミンチン「……一体お前は、これまで誰のお蔭で生きて来られたと思ってるんです」
43	うなだれているセーラを見つめるミンチン（手を台詞途で下ろす）静かに顔をあげるセーラ（台詞途中に）椅子に手をかけ起き上っていく		ミンチン「……お前をこの家においてやった、私の親切のお蔭なんですよ！」
	A・C		
44	立ち上りミンチンの方向き見つめるセーラ、手を強くにぎりしめ、かたく結ばれる口唇		セーラ「先生は……私に、親切だった事はありませんでした……」

45	ギリリとなる、大きく見開く瞳孔			ミンチン「な……なんですって？」
46	ギュッと握られるスカート見つめるセーラ、一、二歩ミンチン近づくセーラ			セーラ「それに……ここが私にとってうちだった事もありません…」
47	ワナワナと震えるミンチン			
48	言いたい事を言った満足感からか、さわやかな表情で見上げているセーラ			
49	赤々と燃える石炭の火			
50	キッとなって怒鳴るミンチン			ミンチン「で…でておいき！～……お前のような恩知らずは…顔も見たくない！」
51	鋭くセーラをにらみ、くるりと背を向けるミンチン	A・C		
52	ワナワナと震えるミンチンオロオロとしているアメリア、つぶやく	A・C		ミンチン「……う…勝手にどこかで野垂れ死するといいんだ！……さ！……とっとと出て

53	A・C		お行き！」
54	はっとなってミンチンの方、走るアメリア、じっと見つめるセーラ		アメリア「お……おねえさま！」
55	ミンチンの傍に行くアメリア 懇願するようにのぞきこむ、ちらりと見るが顔をそらすミンチン		
56	見つめるセーラ		セーラ「判りました……院長先生がそうお望みでしたら……その通りにいたします〜 ごきげんよう院長先生……アメリア先生」
57	不安げにセーラを見るアメリア 一礼するセーラ、去るセーラを 望然と見つめるアメリア		
58	テーブルの奥を通り扉の方行く セーラを見つめるアメリア		
59	扉のノブに手をかけるセーラ		

60	ノブを回すセーラ、アメリア前に出る		アメリア「セ……セーラさん！」
61	きびしい口調で、ぎくと振り返るアメリア、ミンチン見つめる		ミンチン「アメリア！」
62	扉をあけ廊下へ出ていくセーラ		
63	ハッとなって見つめるラビニアジェシー、ガートルード		
64	アーメンガードとロッティ、階下を見る		
65	セーラ、ドアを閉めるセーラ、階段を駈け降りてくるロッティとアーメンガード、降りてくる二人の方を見るセーラ		ロッティ「セーラママ」 アーメンガード「セーラ！」
66	セーラ、見上げて		セーラ「ロッティ、アーメンガード」
67	ロッティ、セーラにしがみつく		ロッティ「セーラ、ママ……！」 アーメンガード「ねえセーラ……まさかあなた

			この学校、出ていったりしないわよね」
68	見上げるロッティの目に浮んでいる泪		ロッティ「セーラママ……ねえ、そんなの嘘よね」
69	首振るセーラ、淋しい表情でロッティを見る		セーラ「いいえ、嘘ではないのよ、ロッティ」
70	かがみ込むセーラ、ロッティに優しく		セーラ「私はもうあなたたちと一緒にはいられなくなったのよ」
71	首ふるロッティの目に一杯の泪 セーラに抱きつき泣きじゃくるロッティ		ロッティ「いやだ、いやだ、セーラママがいなくなっちゃいやだぁ！」
72	泣くロッティを強く抱きしめる ロッティに頬をすりよせるセーラ		セーラ「許して……ロッティ…！」
73	腕の中で泣きじゃくるロッティ ロッティをおこし見つめるセーラ、泪一杯ためて見つめるロッティ、ロッティの泪を指で拭く		

	セーラの手、立ち上るセーラを見上げるロッティ		
	A・C		
74	立ち上りアーメンガードを見つめるセーラ		セーラ「……アーメンガードも元気でね…」
75	セーラを見つめるアーメンガードの目に泪が浮ぶ、流れおちる泪と同時に、前に飛び出すようにセーラの手をつかむ、流れおちる泪		アーメンガード「……セーラ！」
76	握りあった二人の手、泪が手にしたたりおちる		
77	顔をややそらして泪を流しているベッキーと口唇を噛みしめて悲しさをこらえるセーラ		
78	泪を流して、しゃくりあげてセーラを見上げているロッティ、やにわにセーラにしがみつき泣きじゃくる		ロッティ「セーラママ……セーラ…ママ…」

79	手をにぎり合う二人とセーラにしがみつき泣きじゃくるロッティ		ロッティ「セーラママ……!」
77	にやにやとした表情で下を見つめている三人、ガートルードとジェシー顔を見合せる		
78	泣きじゃくるロッティと、嗚咽をこらえてセーラの手を握るアーメンガード、伏せていた目線を上げてアーメンガードを見るセーラ、ロッティを見るセーラ悲しさを、こらえぐっと口唇をかむセーラ		セーラ「アーメンガード…… ロッティ……」 セーラ「……またいつか、きっと逢えるわ…!」
79	セーラを見上げるロッティの目に一杯の泪が溢れている		
80	泣き濡れた目でぐっとセーラを見るアーメンガード、力なくうなづく		

81	口唇をかみしめ見つめるセーラ 一瞬、目線を落とし顔をそらすセーラ（二人の前を去ろうという意志です）		
82	振り合った手をはなすセーラ、一瞬止る、二人の前を離れていくセーラ　C＃—同P 見送る二人とセーラ止り声の方を見る		ラビニア(off)「……セーラ！」
83	口許に冷笑を浮べてゆっくりと降りてくるラビニア、止る		
84	じっと見つめる にーっと口許が笑う		ラビニア「……またいつか、逢えるかもね…… セーラ……」
85	一瞬口唇が引きしまるが、すぐ元にもどる		セーラ　「ありがと……ラビニア」
86	セーラとラビニア見つめあっていたがあるいていくセーラ、ハッとなって見送るベッキーとロッティ		

87	地下の階段を下りていくセーラ ロッティとアーメンガード、走って来て叫ぶ		ロッティ「……行かないで…セーラ、ママ……!!」 アーメンガード「セーラ…!」 ←(こぼし) ロッティ(off)「セーラママ――!!」
88	三人階段途中にたってじっとしている		
89	にーっと笑いが口許に浮ぶ		
90	石炭の上におかれているエミリー、セーラの手が写真とエミリーを取り上げる		
91	エミリーを抱き写真を見るセーラ		
92	写真のUP		
93	声に振り向くセーラ		ベッキー(off)「お嬢さま!」
94	ドアの脇に立ったベッキー、はっとなって石炭ばけつをはなす		

95	足許に落下しころがる馬穴 ベッキーの足が走って…out		ベッキー(off)「…お嬢様!!」 ←（こぼし）
96	セーラの前に走り、見つめるベッキー		ベッキー「……お、お話は聞きましたです…… 〜 ……お嬢様が火を出した訳でもないのに追い出されるなんて…… ……あ…あんまりです…」
97	今にも泣き出しそうな表情で、セーラを見つめるベッキー ベッキーの目に泪がにじむ つつーと流れる泪を手で拭くベッキー		
98	優しく見つめるセーラ		セーラ「ベッキー……仕方ないのよ……私も、いつかはこうなるような気がしていたの……」
99	泪を拭く手を止め、セーラを見るベッキー		ベッキー「……そ…そんな…」
100			セーラ「心配しないでベッキー……私、きっと、強く生きて行くつもりよ……」
101	ポロリと落ちる泪、前に出るベッキー		ベッキー「お嬢様!」

A・C

A・C

102	セーラにしがみつくベッキー、肩で嗚咽をくり返す、セーラもたまらず悲痛な声で……—間—はっとなり見る二人		ベッキー「う……う、う…う……、お嬢様…」 セーラ「……ベッキー……」 モーリー(off)「お…や！〜お前さん、まだこんなところにいたのかい」
103	入口に立つモーリー、ジェームス モーリーの前に出てくるジェームス		ジェームス「さあ、眼ざわりだろ、とっとと出ていきな！」
104	一歩前に出るセーラ		セーラ「お世話になりました、モーリーさんにジェームスさん」
105	モーリーとジェームス		ジェームス「あゝ……」 モーリー「フン！」
106	ベッキーに声をかけて、手前へ歩くセーラ		セーラ「じゃ、ベッキー」
107	部屋を出ていくセーラ、スッと道をあけるジェームスとモーリー		
108	出ていくセーラをいやらしい目		

	付で見送るモーリー、セーラの後をうかがうモーリー、石炭部屋から出て来てモーリーと顔を見合せにやりとする二人		
109	使用人階段、―間― 開いてセーラ出てくる 扉閉めて手前に歩く 石段をのぼりはじめるセーラ、背後に追うように扉開けて、ベッキー来る（泣き作ら）		ベッキー「お嬢さま！」
110	振り向くセーラ、inするベッキー		
111	泣き顔のベッキー、すがるように見上げている		
112	セーラ、優しく		セーラ「泣かないでベッキー、生きていればきっとまた逢えるわ、元気でね」
113	見つめ合う二人、歩き出すセーラ、後を追うベッキー		ベッキー「お嬢さま……」

114	シーザー（猫） 目を開ける		
115	玄関先に寝ていたシーザー 階段をおりてセーラの前に出る セーラ、ニッコリ		
116	かがみ込んでシーザーの頭をな でるセーラ		セーラ「シーザー」
117	鳴くシーザー		シーザー「ミャ〜オ〜」
	A・C		
118	シーザーを抱いて立ちあがるセ ーラ（PAN付け）頬ずりする		セーラ「さよならシーザー」
119	シーザーをベッキーに渡すセー ラ、歩き出すセーラ		セーラー「ベッキー、お願いね」
120	見送るベッキー 泪が溢れてくる		ベッキー「お嬢さま……」 シーザー「ミャ〜オ〜…」
121	通りを渡っていくセーラ 風が枯葉を巻き上げスカートの 裾を舞い上げる		

122	あるくセーラ、髪の毛が風でゆれる　FOLLOW 身を縮めエミリーを強くだきしめる、風が激しく髪の毛をみだす、風に耐えるセーラ		
123	梢にのこった枯葉が風に舞っていく、煙、風になびいている		
124	エミリーをだきしめ髪の毛、スカートをなびかせて立つセーラを見つめるベッキーと二階の窓の生徒たち、あるき出すセーラ		
125	はっとなり前に出るベッキー あわてて止るベッキーの前を馬車が通過していく		ベッキー「……お嬢様!!」
126	立ちつくすベッキーの前をいく馬車、が、out すると小さくなっているセーラ		
127	見つめるベッキーの目から溢れ		

	出る泪		
128	窓に鈴なりになって見送る生徒たち、だが三人組は見えない		
129	見つめる目に泪が一杯のアーメンガードとロッティ 流れる泪		ロッティ「セーラママ……」 アーメンガード「ウ……ウ……」
130	奥を行くセーラ		ロッティ (off)「セーラママ!!
131	はっとなって止る、一瞬振り返ろうとするが止る、エミリーをだきしめ、懸命にこらえる、風が髪の毛が風になびく		←(こぼし) セーラママー!!」
132	風にゆらぐスカート 枯葉が舞う		
133	エミリーに顔をうづめ溢れる泪をこらえるセーラ		
134	風の中のセーラ		ロッティ(off)「セーラママ——!!」

135	叫ぶロッティ	
136	口唇をかみしめこらえ、顔を上げるセーラ、泪が流れる 意を決してあるき出す	
137	あるき角を曲っていくセーラ	
138	ロンドンの雑踏、参考あり　ＴＢ	
139	人々、行き交う奥に辻音楽師が手廻しオルガン？　を弾いている	
140	オルゴールを廻す手　ＴＢ 辻音楽師、時々首を動かす、マスコットのオーム	
141	見ている子供たち	
142	やってくるセーラ	
143	歩くセーラ、うつむきかげん	

144	通行人の一人とぶつかるセーラ 手前に倒れこむセーラ		セーラ「あ!」
	A・C		
145	倒れるセーラ		
146	男、セーラを見て いたいのを我慢して振り返るセーラ、男、衣紋を直しふん然として去る		男「気をつけるんだ—!!」 セーラ「ごめんなさい!!」
147	くやしそうに見送るセーラ おき上り		
	A・C		
148	エミリーを抱きしめる		
149	路上にうづくまりエミリーを抱きしめているセーラ、奥にオルゴールの老人をかこむ子供たち 行き交う人々		
150	口唇をかみしめてじっとこらえるのだがくやし泪が溢れ出るセーラ		

151	窓辺に寄って来て拳をたたきつけるミンチン……口唇をかみ宙をにらむ		
152	ミンチンの後姿　T・B ミンチンを見つめるアメリア、前へ一歩出て		アメリア「……でも～ ……お姉様……この学院を追い出した ことが……もし市長夫人のお耳にでも 入っ
153	オッオッと伏目がちに		
154	ギリリとなるミンチン		(off) たら……」～
155	振り返るミンチン、ジロリとアメリアをにらみながら手前に歩く（ゆっくりと）		ミンチン「……アメリア！……!!」
156	オソルオソル上目使いに見つめるアメリアをにらみながら行くミンチン、こわくなり目線を床にしてしまうアメリア FOLLOW・PAN		

	止るミンチン、ギリリとなるアメリア		
157	ゆがむ口許、ピリピリと動く眉毛 振り返るアメリア 口惜しそうな表情のミンチン 急に振り返るミンチン		ミンチン「……私が…本気であのセーラを追い出したとでも思ってるんですか…」 アメリア「えッ…!!」 ミンチン「……みせしめに決ってるじゃありませんか…」
	A・C		
158	振り返るミンチン		ミンチン「……さ…まだ遠くえは行かない筈です……行って連れ戻して来るんです!」
159	ホッとした表情のアメリア、クルリと身を翻していく		アメリア「は……はい! おねえさまー!」
160	見送るミンチン、前に出て椅子を握りしめて口惜しい顔付になるミンチン		S・E　(扉の開閉音)
161	車輪がガラガラといく、奥を力なく歩くセーラ見える、寒そうに襟を合せる通行人		

162	力なく歩くセーラ、風で髪の毛がなびく、寒そうに首をすぼめる FOLLOW		
163	紳士や淑女の間を行くセーラ、セーラ足、スカートが風に舞う FOLLOW		
164	ロンドンの雑踏の中に入っていくセーラ、見えなくなる、ロンドンの雑踏、スモッグにかすんでいる建物		
165	スモッグにかすむテムス河と橋 PAN・DOWN 提防の道路を行き交う人々、セーラがたたずんでいるのが見える O・L		
166	たたずみセーラ、胸にエミリーを抱いて O・L		
167	エミリーをだいているセーラ目をうすく明ける下を見る		

168	鴨の親仔が一列になって河を行く、小舟が行く、波がたち、鴨の列みだれる		
169	波む仔、波に乗る仔、水をかぶり体をふるわす仔		
170	心配げなセーラ		
171	親の元に集まってくる仔たち、親先導して又泳いでいく		
172	微笑するセーラ		
173	遠ざかっていく鴨		
174	たたずむセーラ		
	O・L		
175	伏目がちになっていくセーラの目に一杯の泪がにじんでくる ぎゅっとエミリーをだきしめる		
176	腕の中エミリー		

177	河の水にうつるセーラがゆれている		S・E　（車の音止る） ピーター(off)「お嬢さんじゃありませんか…!!」
178	ピクリとなり振り返るセーラ		
179	荷を積んだ馬車の上のピーターがオドロイテのび上り見る、飛び降りる		ピーター「やっぱり――お嬢さん!」
180	立ち上るセーラ、走ってくるピーター		セーラ　「ピーター!!」
181	ケゲンな面持ちで見つめるピーター		ピーター「……一体…どうしたんです。エミリーなんか抱いて……」 ←（こぼし）
182	ピーターを見つめていたセーラうつむいていく		
183	曇るピーターの顔 ?!　となるピーター		ピーター「……買い出しじゃなかったんですか…」
184	目に泪がにじんでくる、目を閉じると一筋の泪がほほを伝う、		

No.	画面		台詞
	顔を上げるセーラの思いつめた表情、ゆれる涙		セーラ「ウ……ウ……〜 ウ……」
185	ワーとピーターの胸にすがるセーラ、ビックリするピーター、目をしばたきしどろもどろのピーター		ピーター「お……お…お嬢さ…ん…」
186	水呑場、枯れ葉がおちて水の中へ、馬、水を呑んでいる		
187			
188	冬の木立、枯葉が舞う、奥のベンチに座ってうつむいているセーラと前に立ついかりのピーター、行ったりきたりしている		
189	石をけるピーターの足		
190	飛んでく石、口惜しそうに吐き出す！		ピーター「……そうだったんですか——!!」

191	うつむいているセーラ ピーター帽子をグイと上に、宙をにらむピーター		ピーター「……お嬢さんを火付けの犯人に仕立てて追い出すなんて……なんてひどい連中なんだ！」
192	冬の梢に止っていた鳩が舞う		
193	エミリーを抱きしめているセーラ		
194	セーラを見つめていたピータードンと胸をたたいて		ピーター「判りましたよ、お嬢さん……ご心配には及びません……このオレがついてますからね…！」
195	顔をあげてにっこりするセーラ		セーラ「……ピーター!!」
196	ピーターにっこりして前に出る		ピーター「さあ―」
197	見上げるセーラ、ニッコリ、エミリーと写真を持って立ちあがる		
198	手をとり合う二人、見つめ合う 二人上を見上げる		S・E　（鳩の舞う音）

199	200	201	202	203	204
空を飛ぶ鳩	下水が流れ出ている　T・B 汚ひばいが泥水の中に手をつっ こんで泥をすくっている	ググッと泥をすくう、ザルを上 げて	ヘドロの中にめぼしい物が無い か、さぐる少年の手	ヘドロを捨てて、もう一度ザル を水の中に突っ込む ヘドロをさらってみるが、収穫 なし、汚れた手に寒そうに息を かけ肩をすぼめる	汚れた運河に干潟が出来て舟も 止められている、スモッグ、橋 の上を行く人々、中にピーター セーラもいる、又作業を始める 泥ひばい、すくって中をしらべ

	る、上を見る、泥ひばい、手を上げて		少年①「……やあピーター！」
205	少年、手おろして		少年①「今日は市場はおしまいかい？」
206	手すりにもたれるピーター、身体のり出して、セーラも手すりに近付く		ピーター「あゝ急な用事ができてね、どうだい商売の方は」
207	手前、ピーターとセーラ、河の中の少年		少年①「だめだめ……身体の芯まで冷え込むばっかりでロクな穫物はありゃしないさ」
208	ピーターとセーラ		ピーター「そうか、まあ頑張れよ」
209	再び泥をすくう少年		少年①「お互いにな」
210	セーラ、ピーターに聞く 吹き出すピーター		セーラ「ねえ、ピーターこんな運河にお魚がいるの？」 ピーター「魚ですって？　ハハハ」
211	キョトンとしたセーラ、目をパチクリする		

212	ピーター		ピーター「いやあ、あいつは魚をとっているんじゃありませんよ、泥ひばいって奴です」
213	セーラ、けげん		セーラ「泥ひばい？」
214	泥さらいの少年を見る二人		ピーター「つまりあゝやって川の中へ入って、泥さらいをして、何か金目のものを見つける商売ですよ」
215	ピーターを見るセーラ		セーラ「金目のものって？」 ピーター「うん、そうだね、例えば 〜
216	泥さらいの少年		(off) 船から荷揚げする時に川の中へこぼした石炭クズとか、誰かが捨てた鉄や銅のクズとか…… 〜
217	ザルの中を調べる少年		うまくいきゃ、コインなんかも拾える事があるんです」
218	ザルを裏返してポンポンと叩く少年		

219	別の場所に移っていく少年		ピーター「でも冬はつらい仕事ですよ…」
220	セーラ、少年に視線を向けて、じっと見つめている　T・U		
221	泥をすくいしらべる少年		
222	荷車がゴトゴト揺れて走っている		
223	街を行くセーラとピーター FOLLOW　荷車の少年来て止る、小年、荷台を指して		少年②「やあピーター」 ピーター「やあ、商売替えしたのかい？」 少年②「あゝ、こっちの方がちっとばかり、みいりがいいからな」
224	ピーターとセーラ		ピーター「ま、頑張れよ」
225	走り出す荷車		少年②「あゝ、おまえもな」
226	見送る二人（荷車out）じっと見送っているセーラ		セーラ「ピーター、あれはなあに？」 ピーター「あゝやってゴミや石炭ガラを集めて親方のところへ運ぶと親方からいくらかお金がもらえるんですよ」

225	ビックリのセーラ	セーラ「まあ！……ゴミや石炭ガラが」
226	話をしながら奥へ行くピーター あたりをきょろきょろ見廻すセーラ	ピーター「ええ、野菜クズは豚やニワトリのエサに出せるし、荒い石炭ガラはレンガ工場に ～
227	汚い裏町　PAN・DOWN 後をついて歩いていくセーラ 子供たちが荷物をもって走る、歩くセーラ、止り感心やらオドロキやら……	(off) 細かい灰は肥料に売れるんです。ゴミだろうがなんだろうが、ここじゃお金にならないものなんてありませんよ」 セーラ「驚いたわ……私、今までに知らなかった事よ」
228	樽をころがす子供たち 靴みがきの少年出て来て手を上げる 少年走っていく	ピーター「まだまだお嬢さんの知らない世界はたくさんありますよ」 少年③「ピーター!!」 ピーター(off)「これからか、がんばれよ!!」 ピーター「でも、ここではみんな、あゝやって一生懸命働きながら生きているんですよ」
229	目を輝せて大きくうなづくセーラ	セーラ「そうなのね…！」

230	裏町風路地、馬車の壊れた車輪や道具類が家の前におかれている、ピーター走り込む、一度振り向いてにっこりとする、奥へ走る		
231	手前へ走ってきてセーラ現れる 止まるピーター、セーラの方を見る		ピーター「お嬢さんー！　ここが俺の家です」
232	近付くセーラ、見る		セーラ　「え？」
233	うす汚れた家 ＰＡＮ・ＤＯＷＮ セーラ、近づいて		ピーター (off)→(on)「もとは、馬小屋だったんだけど、貸してもらって、住めるように直したんですよ」 セーラ　「まあ……」 ピーター「ま、馬小屋に住んでいるのはお嬢さんだけじゃないって訳ですよ」
234	笑うセーラ、テレたように ピーターも笑う		セーラ　「ま、ピーターったら」 ピーター「ちょっと待ってて下さいね、父さんや母さんが腰を抜かさないように、お嬢さんをお連れしたことを話してきま

	走って、outするピーター 元気な声がきこえる、クスンと 笑うセーラ、?! となって声の 方を見てあるき出す	すから」 セーラ　「え、ええ」 ピーター(off)「ただいま……!」 男の子Ⓐ(off)「ほらほら……気い…つけろよ!」
235	セーラの足止る、壊れた建物か らレンガを運び出している少年 達、レンガの受け渡し 小さな男の子の手をひいて女の 子が通る、男の子Ⓑ、レンガを 荷台に置き乍ら気付いて声をか ける	男の子Ⓐ「よいしょ」 男の子Ⓑ「おっと、よ~し」 男の子Ⓑ「カラシ葉売りかい?」 女の子　「ええ」 男の子Ⓐ「たくさん売ってこいよな」 女の子　「ありがとう」
236	見ているセーラ　T・U 扉口より外に顔を出して 振り返るセーラ	セーラⓂ「……そうなんだわ、ここではあんな 小さいうちから皆一生懸命に働いてい るんだわ…」 ピーター「お嬢さん―!」
237	入ってくるセーラ、うす暗い部 屋、馬具や馬車の部品が部屋一 杯である、目を丸くして見廻す	

No.	画面	台詞
	セーラ、先導するピーター、遠慮がちにしたがうセーラ FOLLOW PAN→ にっこりうなづくセーラ ピーターの父、入口に現われる （左手につえをついている） 帽子（ハンチング）を取り一礼する父	ピーター「さあ……どうぞ…！」 ピーター「暗いから足許に気をつけて下さい！」 ピーター「父さんです…お嬢さん！」
238	頭を上げる父、愛想よく セーラ、頭を下げる	父「これはこれはお嬢様！……ようこそ…」 セーラ「セーラです……よろしく」←
	A・C	
239	頭を上げるセーラ、緊張ぎみににっこりする、セーラとピーター顔を見合せ、ピーターてれくさそうにうつむき、上目使いにセーラを見る、クスンと笑うセーラ	父「お話しはいつもピーターから聞いておりましたよ…」
240	案内する父、オヅオヅと入ってくるセーラ	父「……さ…汚い所ですが……どうぞ…」
241	うす汚れたカーテン、イスにテ	

	ーブル、小さなダンロにかけられたヤカン、昇る湯気、ピーターがカーテンを引き、セーラ前に出て来て一礼する	ピーター「母さんです」 セーラ「セーラです…」
	A・C	
242	ベットからおき上る母	母「すいません…。お嬢様にこんな格好のままで…」
243	にっこりとほほえむセーラ、父二人の後を通っていく	セーラ「いいえ……それより、お身体がお悪いとピーターから聞いてましたけど…」
244	母の傍の椅子に座る父、 心配そうにセーラの方を見つめる父	母「…ありがとう御座居ます、お蔭様で少しは良くなったようで……それよりお嬢様、この度は大変な事になられたそうで…」
245	うなづき、うなだれていくセーラ	セーラ「え…ええ…」
246	父と母、顔を見合せてうなづき合う	父「ご心配なく…お嬢さん…こんなところでよろしければ、いつまでも泊っていて下さってもよろしいんですよ…なあに、怪我をして御者こそ辞めまし

		たが…馬具の修理を頼まれてましてね…」
247	仕事部屋の方を指すピーター見るセーラ、セーラ、父と母の方を見る	父 (off) 「お嬢一人が食べる位 ←（こぼし）
248	優しく頷く母	～ 決して御不自由はさせませんとも…」
249	目を伏せるセーラ 顔を上げて	セーラ 「……有りがとう小父様……でも私、決心したんです」
250	身をのり出して	父 「決心…?!」
251	にっこりとするセーラ	セーラ 「ええ……なんとか働いて…独りで生きて行こうって…」
252	唖然の顔でセーラを見つめる三人、セーラ、ピーターの方を見る	セーラ 「……だってピーターのお友達だって、みんな立派に働いている事を教えて貰ったんですもの…」
	一歩前に出るピーター	ピーター 「お嬢さん…! なにも働くことは…!」
253	真険な表情で前にのり出し	セーラ 「ピーターお願い…! 私に出来る働

			き口を探して下さらない?!」
254	困惑顔のピーター、見つめた目をくもらせて下におとすピーター		
255	顔を見合せる父と母		
256A	木に布が下っている、窓の外はどんよりして今にも雪が降りそうである　PAN・DOWN ほほづえをついて考えているピーター		ピーター「ウ…ウン……、お嬢さんに向く仕事なんて…」
256B	エミリーをだき椅子に座っているセーラ　T・U		
257	考えこんでいる父と母		父「…ウ〜ん…、市場もだめだとすると…」 母「ゴミ集め…ドロさらいは男の子じゃないと…」
258	ピーター立ち上って		ピーター「母さん……！　あったりまえじゃないか…！　もう少し親身になってくれよ…！」

259	セーラ、微笑んでピーターをたしなめる 不満げにセーラを見るピーター 二人、母の方を見る パッと明るくなるピーター セーラの方を向くピーター 明るくうなづくセーラ	セーラ「いいのよピーター……何でもやってみるから……」 ピーター「でも……お嬢さん!!」 母(off)「そうだ、ピーター！マギーに話してみたら……」 ピーター「そうか……！あそこならー！よし、お嬢さん行って見ましょう！」 セーラ「え……ええ！」
260	うす汚れた裏町の露路、雪がちらついている、空はどんよりとしている、スモッグにかすむ奥の建物　T・U	
261	太ったマギーオバサン、目をつむって一人うなづいている	マギー「ウーン……、成程ねェ……そう云う事情とあっちゃ…… 〜 引き受けない訳にはいかないね……いいともうちで使ってあげるよ…」
262	マギーの前に立つセーラとピーター パッと明るい顔になるセーラ、 喜ぶピーター	ピーター「うわあ……！よかった！」 セーラー「有りがとう御座います！」
263	マッチのラベルを貼っている作	マギー「うちはマッチを作って売ってる商売

	業が見える、マギー奥をちらりと見てから	だからね…」
264	箱にマッチを入れ傍の大きな箱に投げ入れる女の子、見ている二人	マギー　「なあに…、馴れれば楽な仕事さ、今日からでもやってみるかい？」
265	意気込んでうなづく	セーラ　「はい、おねがいします」
266	大きくごきげんにうなづくマギー 立ち上りピーターを追い払う	マギー　「そうときまったら、付添いは邪魔だね」 ピーター「いや、おばさん、よろしく…」 マギー　「ああ心配しないでまかしとき…」
267	ピーター、笑い作らセーラに声をかける、見送るセーラ	ピーター「じゃ、お嬢さん」 セーラ　「ええ、ありがとう、ピーター」
268	作業場の方へ行きかけてセーラを見て	マギー　「さてと……そうは云ったものの……あんたは、マッチ作りに使うにゃ惜しい器量だねェ…」 S・E　（扉の開閉音）
269	振り返るセーラ	セーラ　「えっ…」

	セーラを見つめるマギー		マギー「どうだい、売る方に廻ってみちゃ」 セーラ「はい……どんな仕事でもするつもりです」
270	にっこりとして 扉の方を見るマギー		マギー「うん…いい心がけだね、その心がけが大切なんだよ」 S・E（扉の開く音） マギー「お帰りー！ 〜 随分早く売り切って来たね」
271	扉をしめる少女、手前来る少女 ポケットからお金をとり出す		
272	マギーの手の上にコインを置く マギー、コインを数える		
273	コインを数えるマギー、一枚のコインを少女に渡す		マギー「はいよ…おまえの取り分だよ……それからメアリー、今日からうちで働くことになったセーラだよ」
274	会釈するセーラ		セーラ「よろしく」
275	同じく無言でうなづくメアリー		

276	マギー、メアリーをせかすように		マギー「さ、メアリー、もう一度いっといで新入りのこの子に商売のコツを教えてやるんだよ」
277	橋の上の大混雑、雪が降っている PAN・DOWN セーラとメアリーのマッチ売姿も見える		
278	立ち止まり振り向くメアリー		
279	PAN・UP マッチ売りの少女のスタイルのセーラ、寒そうに身をすくめる手に息を吹きかける		
280	にっこりするメアリー、手を下ろすセーラ メアリー、前へ出ていく		メアリー「寒いの……あんた…」 セーラ「い…いいえ…」 メアリー「雪の降る日はつらいけど売らなきゃね、いい、こうやるのよ」
281	橋の上を通る人々に向って歩くメアリー		

282	紳士に声をかける、見向きもしない紳士、別の婦人に声をかけるメアリー		メアリー「旦那さま、マッチは如何ですか、マッチはいかが？」
283	メアリー（ややアオリ）フレーム外の通行人の動きに合せて顔をおくる		メアリー「風が吹いてもよくつくマッチ、つけ木一本、半ペニーですよ、旦那さま」
284	手前セーラ、通行人に声をかけるメアリー		メアリー「マッチはいかがですか」
285	じっと見ているセーラ　T・U		メアリー(off)「マッチはいかが」
286	セーラの見た目、一つ売れるFr・outする紳士、見送るメアリー、戻ってくるメアリー		紳　士「ひとつもらおうか」 メアリー「はい、ありがとうございます、旦那さま」
287	手前より大きくinして、手すりにもたれるメアリー		メアリー「こうやるのさ、あんた、お嬢さん育ちみたいだけどできるかい？」 セーラ「え、ええ…」 メアリー「じゃ、やってみて」
288	手前に人の行き来		

289	緊張のセーラ 意を決して手前へ歩き出す		セーラⓂ「私は今、勇気を出して新しい生活に とびこもうとしていました」
290	通行人に向って呼びかけるセーラ、紳士断わる		セーラ「……マッチ…いかがですか…?」
291	通行人に次々と呼びかけるセーラ、心許ない呼び声である 唯一人セーラに反応を示さない 心細いセーラ、寒い—、マッチもった手に息を吹きかける F・O		セーラ「あの……マッチ…いかがですか…」

〈おわり〉